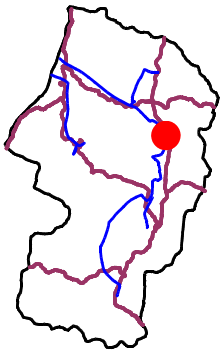
強い東北の創造　「縦」、「横」のネットワークによる広域的な交流・連携の推進

事業名	東北中央自動車道　一般国道13号　尾花沢新庄道路（直轄） （山形県尾花沢市～新庄市）
事業着手：昭和61年度	

事業の必要性・事業の概要

山形県

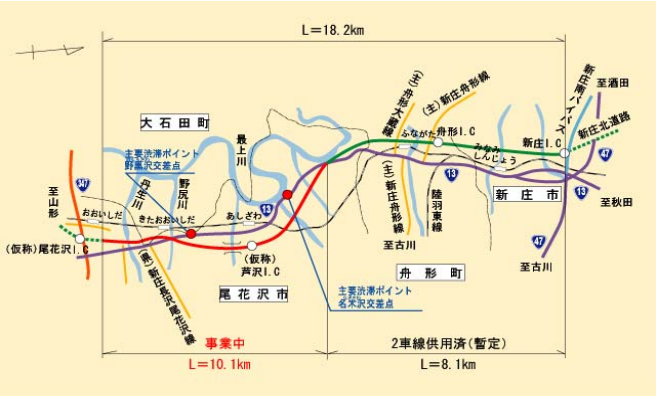


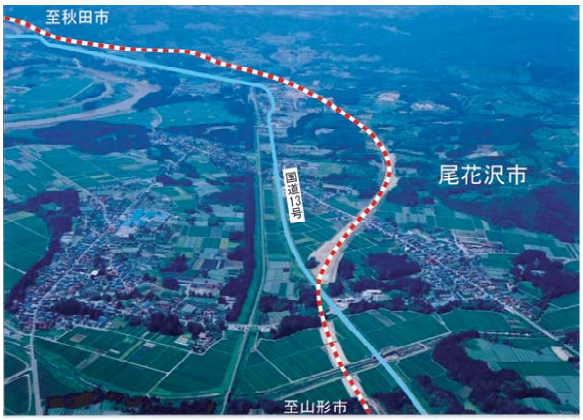
「事業の必要性」

一般国道13号における当区間は、大型車両等の通過交通が多く、沿道に暮らす住民の安全性の低下や、生活環境の悪化が大きな問題となっています。構造面では急勾配箇所が点在するため、冬期間は凍結によるスリップで登れなくなる車両も多く、安定した走行が確保されません。また、朝夕のラッシュ時に「野黒沢交差点」「名木沢交差点」で渋滞が発生しており、通勤や産業活動に支障をきたしていることから、国道としての機能低下が著しく、早急な整備が必要となっています。

「事業の概要」

尾花沢新庄道路は、当該区間における一般国道13号の交通の安全性や地域間の交流・連携を活性化することを目的とした延長18.2kmのバイパス事業です。





▲施工中の尾花沢新庄道路（野黒沢地区上空）



▲名木沢交差点における渋滞状況



事　業　効　果

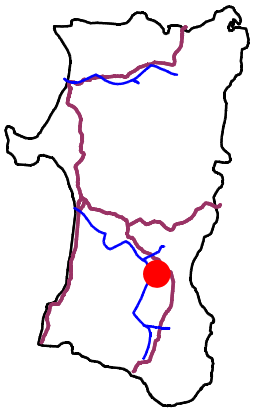
○騒音や振動等の低減による沿道環境の改善
○冬期走行環境の改善
○尾花沢市～新庄市の所要時間の短縮　：　24分（現況）→12分（全線整備後）

強い東北の創造　「縦」、「横」のネットワークによる広域的な交流・連携の推進

事業名	一般国道105号　大曲西道路[地域高規格道路](補助:事業主体　秋田県) (秋田県大仙市)
事業着手:平成9年度	

事業の必要性・事業の概要

秋田県

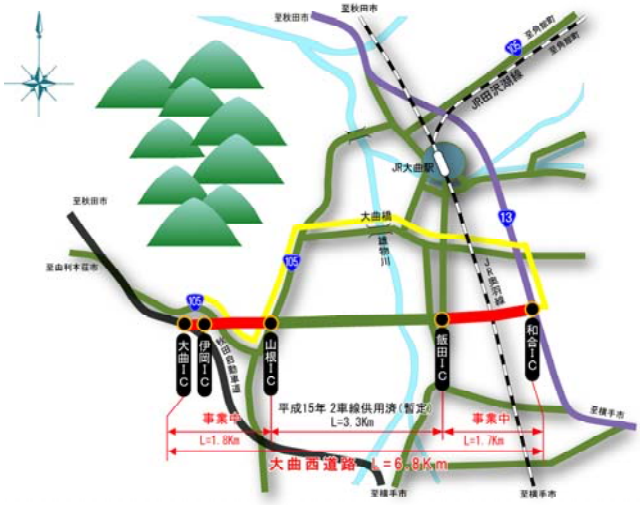


「事業の必要性」

一般国道105号 大曲西道路は、地域相互の交流促進及び高速ICや秋田新幹線駅との連絡等を強化することを目的とし、全国的に形成される地域高規格道路整備の一環として建設される自動車専用道路で、秋田県沿岸部と内陸部を結ぶ骨格道路として早期に整備する必要があります。

「事業の概要」

大曲西道路は本荘大曲道路の一部を構成する道路であり、大仙市周辺市町村から秋田自動車道へのアクセス強化と大仙市街地部における交通混雑の解消を目的とした延長6．8kmの暫定2車線(将来4車線)の自動車専用道路です。



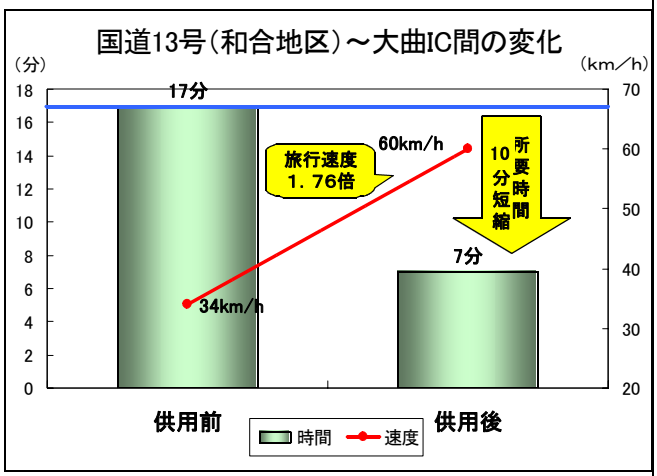


▲大仙市街方向へ渋滞が発生(大曲橋)



▲完成予想図(大曲ICから大仙市街を望む)

▼大曲西道路の整備効果



事　業　効　果

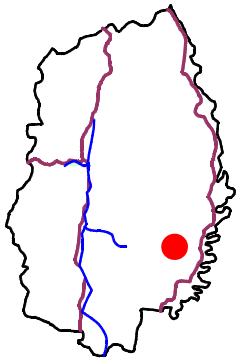
○国道13号から秋田自動車道・大曲IC間のアクセス強化、市街地の渋滞緩和
　旅行速度　　34km／h(現況)　→　60km／h(全線供用後)
　所要時間　　17分(現況)　→　7分(全線供用後)

強い東北の創造　グローバル化に対応した「自立した経済システム」を支える基盤整備

事業名	東北横断自動車道釜石秋田線 一般国道283号　仙人峠道路（直轄権限代行）・仙人道路（補助：事業主体　岩手県） （岩手県釜石市～住田町（すみたちょう）～遠野市（とおの））
事業着手：平成4年度	

事業の必要性・事業の概要

岩手県



「事業の必要性」

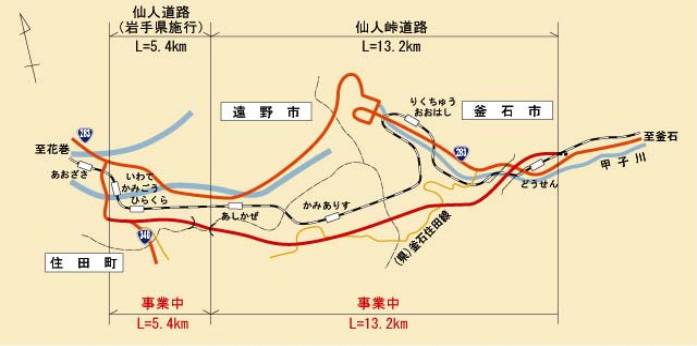
一般国道283号における当該区間は急カーブ・急勾配が連続し隘路（あいろ）区間となっております。

また、大型車のすれ違いが困難な仙人トンネル（Wmin=6．0m）や事前通行規制区間（連続雨量100mm以上）があるなど早急な対策が必要となっています。

「事業の概要」

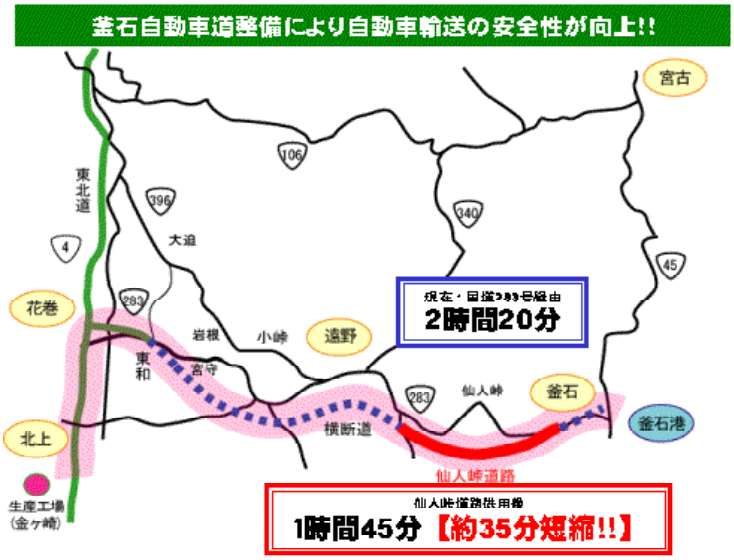
直轄権限代行として施行している仙人峠道路は直轄施工（13．2km）、岩手県施工（5．4km）、全線18．6kmの自動車専用道路です。

現道の平面・縦断線形不良、異常気象時通行規制区間等の交通隘路区間の解消のほか、高規格幹線道路としての地域間交流の拡大・連携、安全確実な交通の確保を目的としています。





▲大型車のすれ違いが困難な仙人トンネル



［横断道全線整備時には釜石−金ヶ崎間が1時間10分で結ばれます］

■自動車出荷や、釜石市エコタウン事業など、釜石港と内陸・他地域との連携が重要視されています。



釜石港に輸送された自家用車

出典：東北横断自動車道釜石・秋田線
釜石・花巻間建設促進期成同盟会
釜石自動車道利用促進協議会
『釜石道がつながると』より抜粋

事　業　効　果

○隘路区間の解消により、安全性が向上します。
○時間短縮効果があります（約35分の短縮）。
○岩手県の自動車産業など、釜石港を利用した物流の安定性・安全性が向上します。

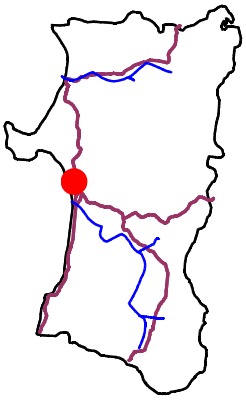
強い東北の創造　**グローバル化に対応した「自立した経済システム」を支える基盤整備**

事業名	秋田港外港地区防波堤整備事業（直轄） （秋田県秋田市）

事業着手：平成３年度

事業の必要性・事業の概要

秋田県



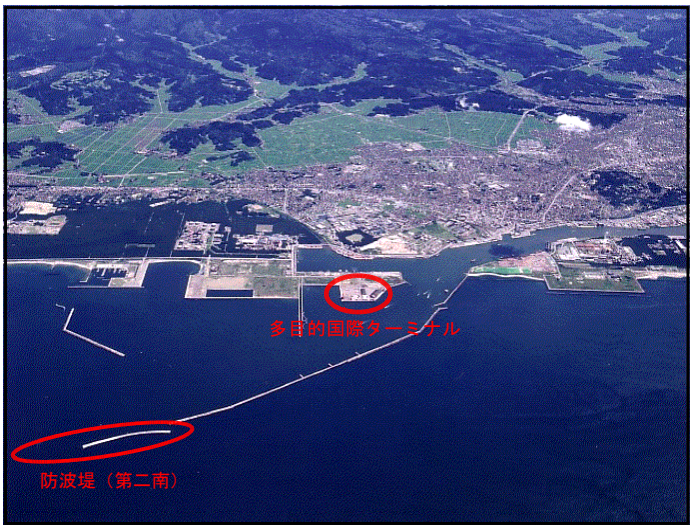
「事業の必要性」

秋田港外港地区の多目的国際ターミナルでは、コンテナ貨物や鉱産品等が取扱われていますが、冬季風浪によって港内が擾乱し、貨物の荷役に障害がでています。

また、長距離フェリーの安全性や定時性が確保されていない等の問題もあるため、防波堤の整備によって港内の静穏度を向上させることが求められています。

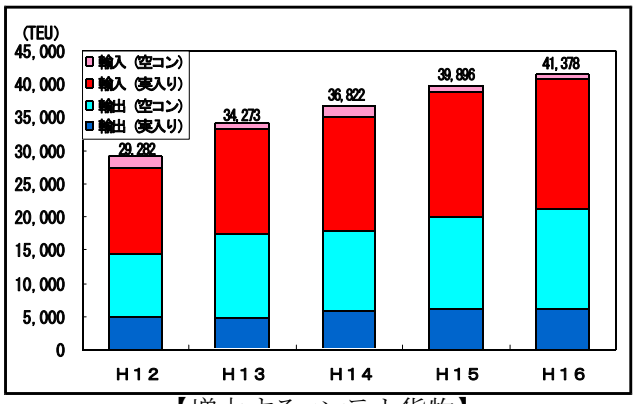
「事業の概要」

防波堤（延長1,400m）の整備によって港内の擾乱を抑え、多目的国際ターミナルの静穏度向上と航行船舶の安全性の向上を図ります。

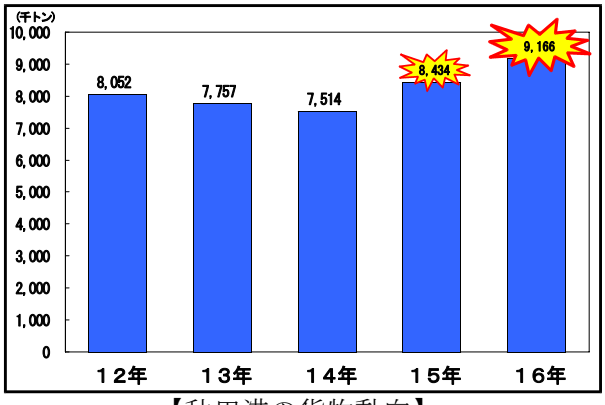




【多目的国際ターミナルの状況】



【増大するコンテナ貨物】



【秋田港の貨物動向】

事　業　効　果

○多目的国際ターミナルの静穏度が向上し、物流の効率化が図られます。
○航行船舶の安全性の向上が図られます。

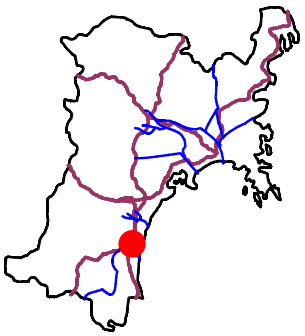
強い東北の創造 グローバル化に対応した「自立した経済システム」を支える基盤整備

事業名	仙台空港アクセス鉄道整備事業（直轄） （宮城県名取市・岩沼市）

事業着手：平成14年度

事業の必要性・事業の概要

宮城県

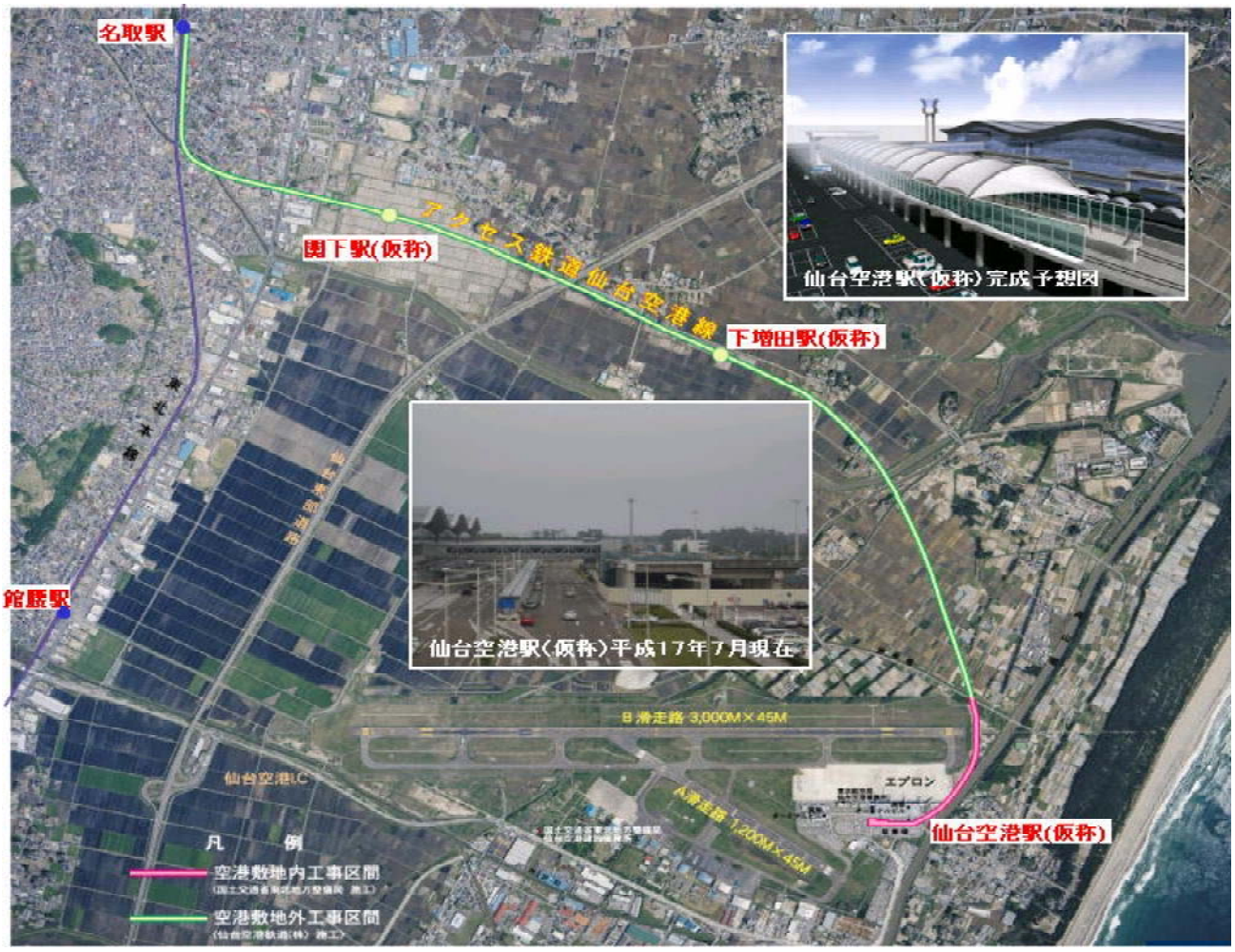


「事業の必要性」

仙台空港は、年間約320万の旅客利用のある東北地方の空のゲートウェイとして、ビジネス、観光そして物流の拠点空港として機能しています。しかし、地方中枢都市である仙台市からのアクセスは、唯一公共交通機関のバスのみであり、更なる空港機能充実を図るには空港へのアクセスを改善し空港利用者の利便性の向上を図ることが重要不可欠となっております。このようなことから、定時性、速達性、広域性に優れ、かつ大量輸送が可能なアクセス鉄道の整備が必要です。

「事業の概要」

整備区間はJR東北本線名取駅から仙台空港ターミナルビルまでの約7.1km（単線）で、このうち空港敷地内約1.1kmを東北地方整備局が直轄事業として平成14年度に着手しており、平成17年度には鉄道土木施設が完成する予定です。第三セクター仙台空港鉄道株式会社が行う空港場外の整備とあわせて整備を進めています。



事　業　効　果

○公共交通機関による仙台空港への1時間アクセス圏内の人口

現　況　108万人　⇒　アクセス鉄道開業後　215万人

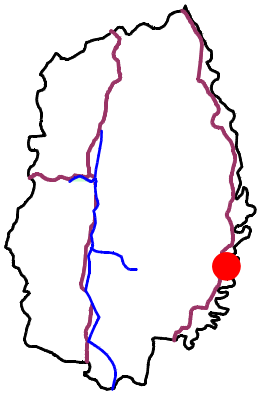
約2倍

強い東北の創造　**グローバル化に対応した「自立した経済システム」を支える基盤整備**

事業名	釜石港須賀地区多目的国際ターミナル整備事業 （補助：事業主体　岩手県）　（岩手県釜石市）
事業着手：平成3年度	

事業の必要性・事業の概要

岩手県



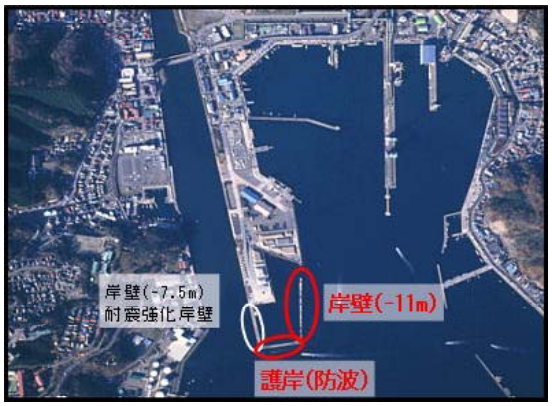
「事業の必要性」

釜石港須賀地区多目的国際ターミナルは、内陸部に立地している自動車関連企業等の生産・消費活動に対応した物流機能の充実を目的に、釜石港と内陸部を結ぶ国道283号（仙人峠道路）とあわせて、整備を進めています。

また、釜石港は静脈物流ネットワークの拠点となる『リサイクルポート』の指定を受けており、金属くずをはじめとするリサイクル貨物を取扱う施設としても、地域経済の活性化に寄与することが期待されるものです。

「事業の概要」

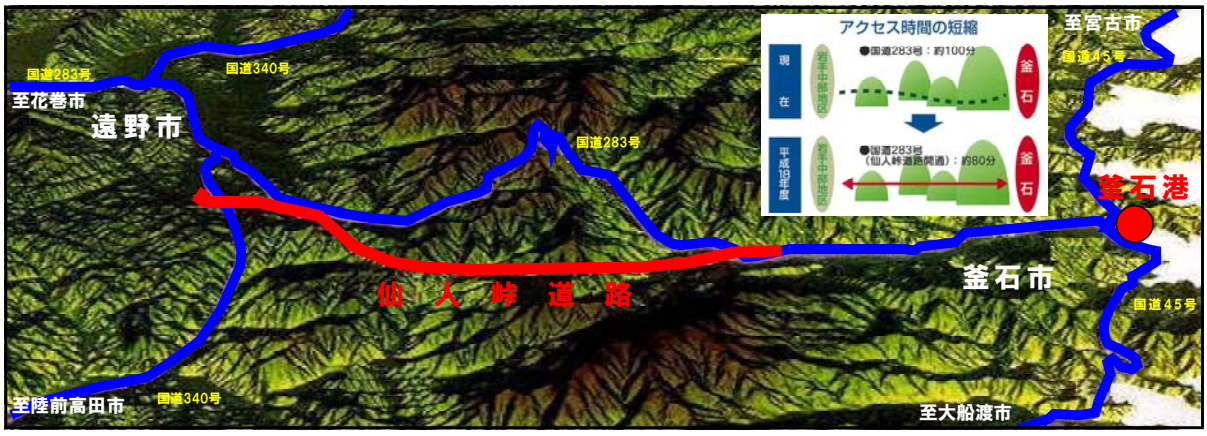
釜石港須賀地区において、大型船に対応した多目的国際ターミナル（延長190m、水深11m岸壁等）の整備を行うもので、隣接する水深7．5mの耐震強化岸壁と共に整備しています。



【整備状況】



【完成予想図】



【道路整備と連携した港湾整備事業】

事　業　効　果

○大型岸壁の不足や物流コストの増大が解消され、物流の効率化が図られます。
○対応船舶　現　状　：　5,000DWT級(水深7．5m)1バース
　　完成後　：　5,000DWT級(水深7．5m)2バース、18,000DWT級(水深11m)1バース